

徳丸浩氏ご登壇！緊急セミナー開催！

深刻化するStruts脆弱性に どう対処するか？

参加費無料

- 日時 2017年4月24日（月） 15:30～18:00
- 会場 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター
（東京都千代田区神田駿河台4-6）
- 定員 70名様
- 申込 <https://goo.gl/F2x0Hq>

※本セミナーは、事前申込制です。

※自社Webシステムの脆弱性対策に取り組まれる企業様およびSIer担当者様を優先させて頂いております。定員を越える申し込みを頂いた場合に、それ以外の方のご参加をお断りする場合があります。予めご了承下さい。

基調講演

15:30～16:30

ウェブサイトの侵入を防ぐため
にはどこまで対策するべきか
～Struts2の話題を中心に～



講師

徳丸 浩氏

HASHコンサル
ティング株式
会社 代表

プログラム

16:30～16:40

セキュリティサービスのご紹介

岡本 早和子 氏

HASHコンサルティング株式会社

16:50～17:30

StrutsからSpringへの自動コン
バートサービスと事例紹介

鈴木 健夫 氏

株式会社スタイルズ

自動コンバートツールによる移行コスト削減事例のご紹介

スタイルズでは、StrutsからSpringMVCの自動変換ツールをご提供し、移行コストの削減を図っています。このツールはコードを解析して、Struts1仕様のタグを、Spring/JSTL（Java Server Pages Standard Tag Library）のタグに自動変換します。

コンバートサービスの3つのメリットで、脆弱性対策×工期削減

- ①自動化でコスト削減 ②要件定義は不要 ③最新のフレームワークSpringMVCへ変換
- 事例1：約1,000,000ステップのJavaコード変換を5か月の工期で完了
- 事例2：約450,000ステップのJavaコード変換を3か月の工期で完了

お問い合わせ・セミナーお申込み

株式会社スタイルズ

TEL 03-5244-4112

URL <https://www.stylez.co.jp>

MAIL seminar@stylez.co.jp



Stylez3

レガシーJavaシステムをリニューアル



Struts→SpringMVC コンバートサービス

Strutsとは

企業のWebアプリケーション開発における基盤フレームワークの1つとして長い間利用され、2000年代半ばにはデファクトスタンダードのように採用されていたのが「Struts」です。今なお、Strutsをベースとしたアプリケーションは多くの企業の業務システムで稼働し続けています。

しかし、当初のStruts (Struts1) は2008年10月の最終版公開を機に開発が止まり、2013年4月にはサポートも終了しました。不具合や脆弱性への正式対応はなく、セキュリティ面では非常に危険な状態が続いています。

Strutsの脆弱性

2014年4月 Apache StrutsのClassLoader を操作される脆弱性

[脆弱性情報]

脆弱性識別番号 : CVE-2014-0114

[悪用された際の影響]

Webサーバー内の情報を盗み取られる

特定ファイル进行操作される

Webアプリを一時的に使用不可状態にされる

操作されるファイルにJavaコードが含まれる場合、任意のコードが実行される

IPA発表 Apache Struts1にもClassLoader を操作される脆弱性(CVE-2014-0114)が存在

株式会社ラック サイバー・グリッド研究所の発表 (2014年05月01日)

Apache Struts2に存在するとされた、リモートの第三者による任意のコード実行を許す脆弱性(CVE-2014-0094)と同様の問題がApache Struts1においても存在していることを確認しました。

この問題には、4月30日付で、共通脆弱性識別子CVE-2014-0114が割り当てられました。

現在は、Struts2がサポートされていますが、2008年10月4日に最終版が公開され、2013年4月5日でサポート終了となった、Struts1においても、同様の脆弱性が存在します。しかし、Struts1はサポート終了しており、当該プロジェクトからは公式なアナウンスは出ておらず、今後正規の更新プログラムの提供もされないものと考えられます。一方、Struts1が稼働しているWebサイトは、官公庁や公益法人、銀行などを含め国内に数多く存在しており、提供ベンダーからの個別サポートなど個々で特別な対応を行ってない限り攻撃に関して脆弱な状態のままと推測されます。

Strutsからの移行先は?

一般的に、Strutsからの移行先としては、通常、SpringMVCかJava EEが候補とされます。

スタイルズでは、開発効率・Spring Bootなどの最新技術への取り組み、Pivotalによるサポートの安定感、利用できる環境の多さなど、さまざまな観点でSpringMVCを推奨しています。

自動コンバートツールによる移行コストの削減

スタイルズでは、StrutsからSpringMVCの自動コンバートツールを準備し、移行コストの削減を図っています。

このツールはコードを解析して、Struts1仕様のタグを、Spring/JSTL(Java Server Pages Standard Tag Library) のタグへコンバートします。



お問い合わせ・セミナーお申込み

株式会社スタイルズ

TEL 03-5244-4112

URL <https://www.stylez.co.jp>

MAIL seminar@stylez.co.jp



Stylez3